



やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/高桑 耐 幹事/大木健市 会報委員長/池田 弘

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ: ENJOY ROTARY 絆、みんな仲良く、クラブの未来へ

本年度第16回 通算1270回 平成24年10月23日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	10/9 修正出席率
		57名	36名	70.6%	90%

ゲスト: 愛知県立豊川工業高校校長 竹本禎久さん ビジター: メークアップ受付 14名

★会長あいさつ

高桑 耐会長



こんにちは。タイにゴルフ場の視察をするために出掛けて来ました。タイでは、友人とその家族と食事をしました。友人の次

男がサムソンで働いているとのことでしたから、詳しい話をいろいろと聞きました。9月に4000台のエアコンを売って臨時のボーナスが出たということで彼がおごってくれました。元々は日本のダイキンに勤務していて、3年前にサムソンにヘッドハンティングされたそうです。どうしてサムソンがこんなに良くなったのか?と聞いたら、それには4つの条件があると言っていました。①現地採用の管理職が多い。②待遇が良い。③全ての会議が英語である。ダイキンの場合は英語もあったが、日本から役員が来ているから日本語も多く、会議には通訳を必要とする時もあったそうです。④ある程度の権限を持たされている。ダイキンの場合は、大きな商談は本社決済が必要になるので時間が掛かるが、サムソンの場合は、担当者に権限があるから直ぐに商談に入れる。

サムソンの今の戦略は、マーケットシェアを広げることで、出来るだけ多くの台数を販売すること、アフターサービスをしてリピーターを増やすことにあるそうです。それを聞いて、これから日本の企業が海外展開する場合、マネージメントスタイルを変えないと、もっともっと大変になっていくのではと感じ

ました。実は、今年4月にベトナムに行ったときに韓国人のサムソン社員と知り合いになりました。その時に、彼にも同じ質問をしたら、先ほどのタイの友人の次男とほぼ同じことを言っていました。間違っていないことだと思います。これからはグローバル化しないと国際競争についていけないと感じました。

★幹事報告

大木健市幹事

例会臨時変更のお知らせ
ガバナー月信 10月号について

★委員会報告

B-1 グランプリの報告・来年度開催について
笠原盛泰会員

こんにちは。先週末、「いなり寿司で豊川市を盛りあげ隊」として北九州に行って参りました。豊川からも多くの皆さんがお出掛けを頂きましてありがとうございました。今年は、来年、豊川で開催するという事で、3年目の団体がホストとして相応しいかどうか、来年豊川に行ってやろうと思われるように、北九州を盛り上げようというのが第一の目的でした。北九州は100万都市で、素晴らしい立地環境で、全国から63団体、2日間で61万人という昨年を上回る人出でした。

これから来年に向けての準備を進めていきます。とても行政だけではできません。地域の企業、市民が一体にならないとできません。皆様方のご協力をお願い致します。

今回の大会出場に際し、農協さん、信用金庫さんはじめ、いろんな団体、企業の皆さんにお世話になりました。ありがとうございました。

★外部講師の卓話

「社会の競争力に負けない工業教育

の実現に向けて」竹本禎久校長



日頃から本校の教育活動にご理解ご協力ご支援を頂きまして誠にありがとうございます。今年で、豊川工業高校の校長になり

5年目になります。この4年半やってきたことについてお話をさせていただきます。

私が校長に赴任した時の第一印象は、自信のない生徒と疲れ切った教員が溢れていたことです。それは、社会全体の工業高校に対する評価、特に東三河地方独特の保守的で安定志向が強い気風で工業高校より普通科高校志向が強く、本校への進学希望者は減少傾向をたどり、入学しても目的意識の薄い生徒が年々増え、生徒募集は毎年苦戦し二次募集のある学校でした。それでも代々の校長により「学習と部活動の両立」を目標として進んできた結果、特に部活動には成果が出ていました。陸上競技部がけん引になり、野球部、サッカー部、バレーボール部、バトミントン部、バスケットボール部、庭球部、卓球部、弓道部は県大会以上の戦績を残せるようになり、少しずつ自信を持った生徒が出てきました。陸上競技部は、全国高校駅伝競走大会に連続で出場し、入賞を重ねるなど大きな実績を残してきました。しかし、その自信は陸上競技部が特別であって、他の部活動や教育活動には、まだまだ自信が不足がちでした。部活動の効果は「挨拶ができる学校」という評価を受けるようになった一方、部活動による弊害の一つである授業に身が入らないといったことが問題になっていました。

教職員は、入学した生徒を3年間で育てることを使命とし、地域社会に送り出すために生徒指導と部活動を強化し、学習意欲の低い生徒に対してのサポートや、授業規律の確保や補習に追われ、いつしか疲れが蓄積されていました。私は、それを変えるために思い切った決断をし、少しずつ課題を探り変革を行い、全教職員の強い想いも加わり、活気のある新しい学校に変わって行きました。

赴任と同時に、本校のミッションを確認し、教育目標を実現するための具体的な施策指針として「社会の競争力に負けない生徒を育てる」を合言葉に掲げ、地域のニーズと課題を明確にし、課題解決に取り組みました。

校内の体制が一層効果的に機能するようになり、教職員は疲れが減り、笑顔、余裕を取り戻しました。「二次募集のない学校」への変化は、教職員だけでなく、中学生が望んでいた「進路が選べる学校」の実現となり、目的意識の高い生徒が集まるようになり、教職員がここまで培ってきた面倒見の良さの一丸となった協力で特色が出てきました。

課題として取り組んだものは、①工業全科一括募集と進学対応クラス設置、②教室環境の整備、③広報部の設置、④オリエンテーション合宿を復活開催、⑤危険予知体感機による安全教育、⑥1年生全員対象のインターシップ実施、⑦基礎学力診断テスト実施、⑧市内中学校技術家庭科教員向け講習会開催、⑨新卒者への全職員による企業訪問の実施です。

「社会の競争力に負けない生徒を育てる」ことをスローガンに学校変革を進め、4年が過ぎました。まだまだ課題は多いが、継続するために全教職員の協力体制が今まで以上に必要です。そして、同窓会や地域の方の援助なくしてはここまでできなかったと思います。

学校は多忙です。予期せぬことが次から次へと発生し、絶えず修正が必要でした。しかし、教職員の前向きな姿勢と純粋な生徒、卒業生が積み上げてきた実績・信頼に助けられました。少しずつですが目標意識の高い生徒が増えているように実感します。本校を第一希望で入学した生徒が93%（平成23年度）に達したこともその表れであると思います。生徒が特色ある「ブランド豊川工業高校」を証明してくれる日が楽しみです。今後ご支援ご協力をお願いします。ご清聴ありがとうございました。

★ニコニコボックス

八木敏司さん 結婚記念日を祝って頂き
滝下 勲会員 誕生日を祝って頂き
原田邦夫会員 〃
来山健一会員 結婚記念日を祝って頂き
堀田卓嗣会員 所要にて途中退席します

会報担当者：池田 弘会員、杉浦元保会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。